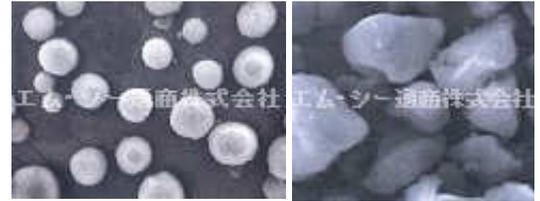


トナーパウダーの製法は「重合トナー」と「粉碎トナー」の2種類に分けられます。

トナーパウダーは樹脂でできておりトナーを製造する際は母体となる樹脂の大きな塊を用意し、これを粉碎法で細かくして粉にするか、重合法で細かくして粉にするかで粉碎トナー・重合トナーになるかが決まります。



重合トナー

粉碎トナー

●トナーについてよくお問合せを頂く QA

◆重合トナーは品質がいい？

純正品の場合はハード設計段階から適合する重合トナーが設計されますが、純正品と同じ成分が使用出来ないリサイクルトナーカートリッジのトナーパウダーの場合、印刷に際して一概に「重合トナー＝高品質」とは言えない場合があります。

【粉碎トナー】

- ・技術面
長年の成熟した技術で、様々な応用もでき求められる性能に柔軟な対応ができる。
- ・品質
意図した特性に設計しやすく、粉碎後に粒子形状を丸くして整えて重合トナーを疑似的に再現し十分なパフォーマンスを発揮できる「球形化」という応用技術もある。
また、粉碎トナーの性質上ブレードからのすり抜けが起きにくいという特性もある。

【重合トナー】

- ・技術面
高度な技術と特殊な設備が必要であり、非純正トナーパウダーは重合法による完成度の高いトナーを作り上げることが粉碎法に比べて現状は困難。
- ・品質
意図した品質に設計する事が難しく、機種によってはトナー飛散やブレードからのすり抜け等のトラブルになる例が多く見られる。但しプリンターの機構によってはそういった影響を受けない機種もある。

MC トナーはプリンター本体の特性に合わせて粉碎トナー・重合トナー問わず、最も適合性の高いトナーパウダーを使用しています

◆重合トナーは低温定着トナーですか？

重合トナー＝低温定着トナーではなく、近年採用されている低温定着トナーとは関係ありません。

近年プリンターメーカー様が低温定着トナーを多く採用する理由は

- ・プリンターの省電力化⇒そのためにトナーの低温定着化が必要
- これと共に、以下の理由で重合トナーの採用も多くなっています。
- ・トナーの低消費量化⇒トナー粒子をより小さく、形をより揃える＝重合トナーで実現

上記のように、トナーの低温定着化と重合法トナーの普及が同時に進んでいる為、『重合トナー＝低温定着』トナーと誤ってしまいがちですが、トナーの定着温度は、粉碎法・重合法による差はありません。

定着温度に関わるのはトナーの母体となる樹脂の種類で、樹脂の種類により溶ける温度が異なります。低温定着トナーは重合法トナー・粉碎法トナー問わず、低い温度で溶け始める性質の樹脂を選定する事で低温定着トナーとなります。

最新プリンターでは省電力傾向にあり、プリンター本体にも定着温度を調整出来るオプションが搭載されているケースが見られます（数年前の旧来機種には搭載されていませんでした）。

**リサイクルトナーを使用する場合は
お客様の印刷使用状況に応じて、適した設定をする事をお勧め致します。**